

平成17年3月吉日

株式会社 御中

貴社益々ご発展の事お喜び申し上げます。

また、各種社会貢献事業の推進に有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、今般下記につき、当会メンバーなどより、当該事態への対策に疑義が寄せられておりますことをうけて、なにがしらかのご配慮をいただきたく、お願い申し上げます。

AWN アニマルウエルフェア連絡会 / www.dobutu.net は人と動物との適切な関係づくりや、生物多様性における環境保全などを考える、国内多数の草の根市民の情報連絡ネットワークです。

記

コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ 企業の社会的責任と環境保全について

コンプライアンス = 「法令順守」が話題になり、生物多様性と環境保全が社会問題になっています。

ヒトの生活環境と「動物」との関係が見直され始めています。ヒトの役に立ち、ヒトのために働いた動物がいます。

ヒトの役に立ち、ヒトのために働いた後に、ヒトにより見捨てられ、あるいは有体物としての価値を失わされて、ヒトに余剰動物と呼ばれてしまう動物がいます。

ヒトの役に立ちヒトのために働く動物たちと、ヒトとの関係を「人と動物との調和のとれた共生」などともいわれています。

ヒトの命とは少し異なるものの、やはり命あることに照らし合わせて、ヒトが心配りする動物もいます。

命あることに照らし合わせて、ヒトに心配りされる立場の動物たちを思い、守りかばうヒトたちがいます。しかし、我が国の動物愛護風潮が成熟していると言い難いためもあって、そのような思いや行いに「崇高で気高い、動物の権利擁護」などと揶揄を込められることもあります。

ヒトの環境を侵す恐れのある動植物を、前もって発生させないために、ヒトビトがどうすればよいのか、法令も定められようとしています。

ヒトの命とは少し異なるものの、やはり命あることに照らし合わせて、ヒトに心配りされる動物たちを思い、守りかばうヒトの行いは、ヒトの環境が動物たちに侵されないように、前もって抑止する行いに結びつくことから、地方自治の施策に取り入れられはじめています。

命あることに照らし合わせて、ヒトに心配りされる動物たちを思い、守りかばうヒトたちの思いや行いを、同様に守りかばうことも法令順守の範囲とされるためです。極めて強く威圧的に気高く言い変えると、憲法の下で認められるヒトの行いです。

企業の社会貢献事業プランと生物多様性の関係

動物が命あることに照らし合わせて、ヒトが心配りする動物たちを思い、守りかばうヒトたちの思いや行いを抑止する事業計画と、その計画を実行する企業の社会的責任に混乱が生まれています。

最近のいくつかの事例では「巨大組織の野良ねこ対策改善」「事業者によるねこの駆除事業廃止」「慣例によるねこの排除指導を防除措置に改善」などの概略が別途ホームページにも案内されています。
(www.dobutu.netよりリンク)

また、誠に不本意ですが、動物が命あることに照らし合わせて、ヒトに心配りされる動物を思い、守りかばうヒトたちの思いや行いを、社会的責任において、守りかばう試みの少ない事業計画の例もあります。

巨大企業では、その内部の情報交換機能が行き届かないための混乱や弊害も起こるためと思われ、「企業の社会的責任」を担うセクションと、他のセクションとの緊密な情報交換や、当該事態への適切な対応へのお願いも示されるところです。

混乱・弊害などの改善策

既に徘徊している愛護動物と環境保全問題は、人の作意による適切な抑止対策の行われないうえ、歴史的に振り返っても循環し継続しています。

法令に定められた愛護動物の駆除や排除は困難であり、また生物多様性と環境保全に関わる野生動物とも異なり、これ以上の動物個体の発生を抑止するための生殖を抑えるなどの方法のほか、人によるなんらかの作為的な作用が求められているためです。

人の作為による抑止対策には、これ以上の徘徊する愛護動物を発生させない目的の、可罰的違法行為とされる動物遺棄犯罪の抑止対策やそのほかの法の執行も、関連機関などとの情報交換のもと、推進されています。

そのほかの具体的な混乱

「野良ねこをお家に連れ帰れ」という考え方・・・

1頭のねこの適性な終生飼養（一生涯の保護管理）依頼費を、数百万円に設定した民間営利事業もあります。また飼い猫としてのトレーニングのされていない野良ねこの保護管理は、人の身体や精神、居住環境を強く侵す恐れもあります。一般市民に「野良猫をお家に連れ帰らせる」行為には、連れ帰る市民に大きな代償がともないます。

「外で飼う」ということ・・・

所有者や占有者の定まらない野良ねこは、「外で飼われている」ねこと異なります。野良ねこのこれ以上の発生を防ぐ対策は、今生きているねこに目をかける人々に限る作用だけで解決しないことを、長い歴史が物語っています。公有地私有地の区別を問わず、環境の保全問題と位置付けられています。

「えさをやるな」について・・・

国内の野良ねこが絶滅しない限り、えさを与えない措置で、ねこと広域環境保全問題の解決した事態は見られず、問題が常に繰り返し循環しています。このため保護や管理を徹底しながら、これ以上の発生を抑止する目的の、一定期間に渡る人の作為による措置がとられています。

事態の解決にあたって

所有者あるいは占有者の特定できない、愛護動物とされるねこにより、ヒトが侵されることを抑止する具体的な対策方法を、経験や知識や技術を有する者などより、ペーパー資料にて提供できます。

当該の対策実行を思い行うヒトビトに対して、実行支援を求めることもできます。企業の社会的責任を果たす事業計画と同様に、人と動物との適切な関係づくりを目指す人々の、環境保全と法令順守のボランティアプランです。

既に徘徊している愛護動物が命あることに照らし合わせて、守りかばう人の思いや行いを、同様に守りかばう事態も法令順守のボランティアプランとされているためです。

事態解決のための、具体的で実践的なペーパー資料をぜひご利用ください。国内の企業ほか一部の地方自治などにもご利用いただいています。

当該事態に精通したメンバーグループより改めて資料を送付させていただき、委細のご相談を承ります。（草の根市民ボランティアワークの一環です。対価を求めるものではありません。）

以上、なにがしかのご配慮とお返事をいただけると幸いです。何とぞよろしくごお願い申し上げます。

アニマルウエルフェア連絡会
共同代表